

# 『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』 授業での活用事例

## 小学校編

### 総合的な学習と社会

- P3・・・多治見市立脇之島小学校 対象：6年生  
総合的な学習・社会でのSDGs
- P5・・・印西市立原山小学校 対象：5年生  
つくろう！みんなが幸せな社会～SDGsを使って社会を見よう～
- P7・・・下呂市立宮田小学校 対象：6年生  
切り開け！宮田の未来
- P9・・・小金井市立小金井第二小学校 対象：6年生  
SDGsについて調べよう
- P10・・・恩田小学校 対象：6年生  
11：住み続けられるまちづくりを
- P12・・・江戸川学園取手小学校 対象：6年生  
SDGs in Edotori
- P14・・・香芝市立下田学校 対象：5年生  
地球の未来を考えよう
- P16・・・いわき市立泉北小学校 対象：4年生  
考えよう！未来のために、未来のこと
- P18・・・笹尾西小学校 対象：5年生  
知ろう！学ぼう！SDGs
- P20・・・小美玉市立小川南小学校 対象：4年生  
環境問題以外のSDGsの目標に目を向けよう
- P21・・・杉並区立荻窪小学校 対象：5年生  
SDGs～私たちにできることを考えよう～
- P22・・・枚方市立東香里小学校 対象：3年生  
いろいろな国のSDGsを紹介しよう
- P28・・・天童市立干布学校 対象：3年生  
SDGsとつないでみよう
- P30・・・広島市立基町小学校 対象：6年生  
基町での学びをヒロシマから世界へ発信しよう
- P32・・・伊予市立下灘小学校 対象：5年生  
めざせ！エコ博士

# 『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』 授業での活用事例

## 小学校編

- P34・・・野田市立七光台小学校 対象：5年生  
SDGsミニ新聞をつくろう
- P36・・・目黒区立上目黒小学校 対象：4年生  
より良い発表にするための話し合いを行い、改善案を出し合おう
- P38・・・松山市立味生第二小学校 対象：5・6年生  
R3 幸せってなんだろうプロジェクト
- P40・・・神奈川県葉山町立葉山小学校 対象：6年生  
アクション～未来を作るのは、わたしたちだ～
- P44・・・郡山市立湖南小中学校 対象：5年生  
SDGsすごろくを作ろう

### 理科

- P46・・・山形市立金井小学校 対象：6年  
持続可能な生活をするために自分たちができること

### 家庭科・国語科

- P47・・・山形市立金井小学校 対象：6年  
今、地球で起きていることを知ろう そして、自分ができることを提案しよう
- P52・・・瑞穂町立瑞穂第五小学校 対象：5年  
この本おすすめします ～本からSDGs～
- P54・・・目黒区立上目黒小学校 対象：5年  
「みんなが過ごしやすい町」の報告文で伝えたいことを考えよう

### 生活科

- P56・・・目黒区立上目黒小学校 対象：2年  
①みのまわりにある「もの」をつかって、いろいろなあそびを考えよう  
②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう

### 道徳

- P58・・・神通碧小学校 対象：3年  
SDGsってなあに？

# 総合的な学習・社会でのSDGs

多治見市立脇之島小学校 安藤薫

<b>対象</b>	6年生	<b>単元名</b>	総合的な学習、社会共に SDGsを知ろう
<b>科目</b>	総合 社会	<b>目標</b>	その1 SDGsとは何かを知ろう その2 SDGsで自分のできることを見つけよう その3 SDGsについて学んだことを発信しよう
<b>時間</b>	6時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 世界の課題について関心をもつことができる。
- ・その2 身近なところから世界を変えることができるという自信をもつことができる。
- ・その3 より多くの人と共に活動することの大切さを実感できる。

## 授業内容

### 総合的な学習(7月～10月)

- 1, SDGsとは何かを知ろう
  - ①国連ピコ太郎の動画等からSDGsに興味をもつ。
  - ②いただいた本を好きなところから好きなように読む時間をとる。
  - ③SDGsサイコロやSDGsすごろくをグループで楽しみ、SDGsに親しむ。
- 2, SDGsで自分のできることを見つけよう
  - ①自分の興味をもった目標について調べてみる。
  - ②身近にできることを考える。
- 3, SDGsについて学んだことを発信しよう
  - ①環境学習とからめて、新聞作りを行う。
  - ②友達と新聞を読み合う。

# 総合的な学習・社会でのSDGs

多治見市立脇之島小学校 安藤薫学校名

社会(政治国際編) (1月~2月)

- 1, SDGsについて学習するところでした本をもう一度読む時間を設ける。
- 2, 改めて自分ができることを考える。

## 子どもたちの反応・感想

- SDGsを聞いたことのない児童がほとんどだったが、繰り返し扱うことで、SDGsという単語に反応する児童が増えた。
- 一人1冊本がいただけなので、自分の好きな読み方ができた。
- すごろくはSDGsカードのパターンが5つあり、繰り返し行っても飽きずに楽しく勉強できた。
- 総合的な学習で先に学習しておき、後で社会の教科書でもう一度扱う流れにしたことで、よりSDGsの大切さが分かった。
- 自分ができることを考えるところまでで終わってしまう児童もいた。児童が継続して実践したくなるような工夫が必要だと感じた。

# つくろう！みんなが幸せな社会～SDGsを使って社会を見よう～

学校名：印西市立原山小学校 名前：本木 淳也

<b>対象</b>	5年 総合的な学習	<b>単元名</b>	つくろう！みんなが幸せな社会 ～SDGsを使って社会を見よう～
<b>科目</b>		<b>目標</b>	その1 SDGsがつくられる背景にある世界の現状とありうる社会について理解するとともに、ありたい社会を考える。 その2 SDGs達成のためにどのような人たちがどのような取り組みをしているか理解する。 その3 ありうる社会をありたい社会(みんなが幸せな社会)へと変えるために、自分たちにできることを考え、具体的な行動を起こそうとする。
<b>時間</b>	70時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1  
世界の現状と想定される未来、SDGs達成のための具体的取組を理解することができる。
- ・その2  
他者に伝えるために、収集した情報を整理・分析する過程を通し、SDGsをより「ジブンゴト化」して捉えることができる。
- ・その3  
今後の探求学習におけるSDGsの視点を得ることができる。

## 授業内容

1年間を通し、SDGsの視点を用いた総合的な学習の時間を実施した。  
「つくろう！みんなが幸せな社会 ～SDGsを使って社会を見よう～」は①～③の3つの小単元で構成している。

### ①みんなが幸せな社会って何だろう（10時間）

- ・「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを行い、世界の現状や課題について学ぶ
- ・「みんなが幸せ」な世界を「〇〇がある世界」と「〇〇がない世界」に分類して考える。
- ・SDGsのアイコン(英語版)と前時の活動で分類した物を照らし合わせ、17のアイコンにタイトルを付ける。

### ②みんなが幸せな社会をつくるためにできることを提案しよう(25時間)

- ・17グループに分かれ、各ゴールを中心テーマとした調べ学習を行う。  
「SDGsアイデアブック」を活用し、以下の項目を必須事項としてスライド資料を作成する。
    - (1) 選択したゴールを分かりやすい表現にする。
    - (2) 選択したゴールの日本・世界の課題と改善のための取り組み
    - (3) 選択したゴールと他のゴールのつながり
    - (4) 自分たちにできること
  - ・作成したスライド資料を用いてオンライン報告会を実施し、保護者にSDGsを広める。
- ※ロイロノートのシンキングツールを活用し、収集した情報の整理・分析や情報の共有を行った。  
※Google スライドの共同編集機能を用いて、各グループのスライド資料作成を行った。

# つくろう！みんなが幸せな社会～SDGsを使って社会を見よう～

学校名：印西市立原山小学校 名前：本木 淳也

## 授業内容2

### ③よりよい消費をして世界をよりよくしよう(35時間)

- ・食品を購入する際に意識していることを共有する。  
※Google Formsを用いて、保護者の意識調査も行った。
  - ・消費行動をめぐる世界の課題を捉える。  
フェアトレード・児童労働・フードロス・フードマイレージ・貿易格差・農薬被害・パーム油  
持続可能な農業、水産業
  - ・エシカルな消費を促すために「サステナブルラベル」があることを知る。
  - ・学校の近所にあるスーパーマーケットのエシカル消費への取り組みについて、店長から話を聞く。
  - ・スーパーマーケットで、エシカル消費を広めるためにどのような取り組みをしたらよいか考え、  
企画書を作成する。
  - ・スーパーマーケットに企画を提案し、エシカル消費を広めるための取り組みを行う。
- ※SDGsアイデアブックを常備し、調べ学習の際には好きな時に使えるようにした。  
※児童・保護者がよく利用するスーパーマーケットに連携のお願いをすることで、自分たちの取  
り組みが価値あるものだったという認識をもたせられるようにした。  
※ロイロノートのシンキングツールを活用し、収集した情報の整理・分析や情報の共有を行った。  
※一人一台端末を活用し、様々な企業の取り組みやサステナブルラベルについて調査テーマ  
を決め、情報の収集を行い、調査した内容を全員で共有した。  
※企画書を作成するにあたり、連携していただくスーパーマーケットにとってもメリットがある取  
組みをするという点を強調し、双方にとってwin-winな関係づくりを目指した。

## 子どもたちの反応・感想

- 学習前のSDGs認知度・・・8%
- SDGsアイデアブックを活用した子どもたちの感想
  - ・SDGsの一つ一つについてわかりやすく、詳しく説明してあったのでとても読みやすかった。
  - ・写真や図があったので分かりやすかった。
  - ・インターネットで調べても難しいことばかりが載っていたけれど、この本を使うとスライドにまとめるのに便利だった。
  - ・インターネットでも見つからない情報がたくさんあった。
  - ・インターネットは難しい言葉がたくさん使われていたけれど、この本では簡単にまとめられていて良かった。
- 1年間の学習を通しての子どもたちの感想
  - ・SDGsを知らない人に大切さを教えてあげたい。
  - ・SDGsが達成できないと、地球の環境がどんどん悪くなっていってしまうのでこの17個の目標はとても大切だと思った。
  - ・世界を変えるためには皆の協力が大切！！
  - ・SDGsは「人を置き去りにしない社会」を目指しているということがわかった。
  - ・みんながSDGsを知って、もっと考えてくれたらいいなと思う！
  - ・世界には、たくさん苦しんでいる人がいて、それを助けるために、17個の目標(SDGs)がある。
  - ・一人ひとりが、少しずつ取り組むことで、世界を救えるんだと実感した。
  - ・どんなことでもいいから、自分にできることをしたい。

# 切り開け！宮田の未来

学校名：下呂市立宮田小学校 名前：西尾達也

<b>対象</b>	6年	<b>単元名</b>	未来に引き継ぐ宮田の課題を探れ！
<b>科目</b>	総合的な学習	<b>目標</b>	
<b>時間</b>	20時間	1	人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考える。
<b>参考資料</b>	アイデアブック SDGsカード	2	自分にとっての学ぶことの意味や価値を考え、意見や考えを深める。
		3	3 学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考える。

## 期待できる学習効果

- ・SDGsの視点から、現在の地球的規模の社会的問題の全体像を把握することができる。
- ・身近な地域の課題を知り、課題解決のための方法を考え、調べる活動ができる。
- ・活動したことを地域に向けて行動したり、情報を発信したりできる。

## 授業内容

1. ガイダンス
  - ・現代の地球上の人類の課題を知る。
  - ・アイデアブックを通してSDGsの視点を具体的に知る。
2. 17の視点の中から、興味があり地域の課題だと感じる視点を3つ選ぶ。
  - ・選んだ順に、第1～3までを発表する。
3. 選んだ理由を交流する。
  - ・現代の課題で興味がある点と、地域の課題を見る点をつなげる。

# 切り開け！宮田の未来

学校名:下呂市立宮田小学校 名前:西尾達也

## 授業内容2

4. 選んだ理由と地域にかかわる事柄を調べる。
  - ・地域の地理や「歴史に関する書籍からテーマに関する内容を調べる。
  
5. 活動計画を立てる
  - ・知りたいことを調べる方法や内容を整理する。  
(校外でインタビューする、現場へ調査に出かける等)
  
6. 住んでいる地域で実践できる行動を考える。  
(自身ができる行動、地域の組織ができる行動を提言する、ポスターや看板の製作等)

## 子どもたちの反応・感想

# SDGsについて調べよう

学校名: 小金井市立小金井第二小学校 名前: 吉永克巳

<b>対象</b>	6年	<b>単元名</b>	SDGsについて調べよう
<b>科目</b>	総合	<b>目標</b>	その1 SDGsとは何かを知る。 その2 17の目標から一つを選び現状・課題について調べる。 その3 Chromebookを使って調べたことを発表する。
<b>時間</b>	5時間		
<b>参考資料</b>	・『アイデアブック』 ・ユニセフSDGs ホームページ		

## 期待できる学習効果

- ・その1 SDGsについての理解
- ・その2 chromebookを使っでの発表のスキルの向上

## 授業内容

1. SDGsとは何かを知る。
  - ・ユニセフのSDGsについてのホームページの視聴 ・担任からの話
2. SDGsの17の目標について知る。
  - ・『未来を変える目標SDGsアイデアブック』を読む。
  - ・17の目標から興味をもった目標をひとつ選び、さらに詳しく調べる。
3. 選んだ目標について「現状」「課題」「取り組み」「自分の考え」をまとめる。
  - ・「現状」「課題」「取り組み」については、『未来を変える目標SDGsアイデアブック』を参考にまとめてみる。
  - ・SDGsのアイコンや、アイデア資料を活用しプレゼンテーション資料を作成する。
4. プレゼンテーションを行う。



- ・自分の調べたことや考えを友達に伝える。
- ・友達の発表を聞き、SDGsについての考えを深める。

# 11:住み続けられるまちづくりを

学校名:恩田小学校 名前:秀徳有希

対象	6年生	単元名	ハッピーアートプロジェクト
科目	総合的な学習の時間	目標	11:住み続けられるまちづくりに関わる取組を知ろう。
時間	1時間		
参考資料	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1  
自分たちが行っている活動と照らし合わせながら、SDGsに関わる活動について視野を広げることができる。
- ・その2  
まちに住む様々な人にとって、より暮らしやすくなるまちづくりの取組について理解を深めることができる。

## 授業内容

クラス総合として取り組んでいる「ハッピーアートプロジェクト」では、恩田小学校35周年ということもあり、オリジナルキャラクターを創る活動を行っています。(11:住み続けられるまちづくりにつながる活動として進めています。)

クラスの取組では、キャラクターを創り地域に広めることが、学校に愛着をもつことにつながり、それが、住み続けられるまちづくりにもつながるという視点で進めました。

活動が一区切りついた頃、同じSDGs11に関わる活動として、他にどのような取組があるのだろうか?ということを知るために、アイデアブックの中にある、<インクレディブル・エディブル>や<シェア金沢>の取組を紹介する授業を行いました。

外国(イギリス)の取組と、日本(金沢)の取組が紹介されていたことで、日本全国、そして世界の国でもSDGsに関わる取組が行われているということを知ることができました。

# 11:住み続けられるまちづくりを

学校名:恩田小学校 名前:秀徳有希

## 子どもたちの反応・感想

<インクレディブル・エディブル>の取組では、「好きなように採って食べていい」からスタートしたというのが興味深かったようです。誰かがトップに立って始めるのではなく、小さなきっかけで始まったことが、まちづくりという大きな取組につながるということが、すごいと思ったという感想がたくさん出てきました。

# SDGs in Edotori

学校名:江戸川学園取手小学校 名前:土屋 健太郎

<b>対象</b>	6年生	<b>単元名</b>	SDGs in Edotori
<b>科目</b>	総合的な学習の時間	<b>目標</b>	その1 SDGsについて知ろう その2 SDGsについて考えたことをまとめよう その3 SDGsについて学んだことを発信しよう
<b>時間</b>	30時間(推定)		
<b>参考資料</b>	アイデアブック SDGsクラブ 日本ユニセフ協会 ( <a href="https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/">https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/</a> )など		

## 期待できる学習効果

- ・その1 世界の課題に関心を持ち、課題を解決するための方法を考えたり、自分にできる行動を考えたりすることができる。
- ・その2 仲間と協働し、世界の課題について伝えたいことを考え、発信することができる。

## 授業内容

第1次 SDGsについて知ろう (4月～6月)

① オリエンテーション、SDGsクイズ (3時間)

SDGsとは何かについて説明するオリエンテーション。その後、SDGsに関するクイズを出題し、予想した後に調べて答えを求める活動を行った。

② SDGsについて調べよう(3時間)

『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』や、インターネットから、SDGsについて調べる。興味のある目標から1つ選び、PowerPointで数枚のスライドにまとめて発表する。

③ SDGs行動宣言レポートを書こう (3時間)

ワークシート「私たちがつくる持続可能な世界 ～SDGs をナビにして～」  
(<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/kyozai/teacher.html>) に取り組む。

第2次 SDGsえどとりムービープロジェクト (6月～7月,10～12月 9月は休校)

SDGsに関する動画を作り、SDGsクリエイティブアワード(<https://www.sdgs.world/>)への応募を目指す(新型コロナウイルス蔓延による休校のため応募は断念)

① 説明、グループ分け(1時間)

伝えるための表現方法を挙げ(動画、劇、漫画、Minecraftなど)、希望する表現方法をもとにグループ分けを行った。

次ページへ続く

# SDGs in Edotori

学校名:江戸川学園取手小学校 名前:土屋 健太郎

## 授業内容2

### 第2次 つづき

#### ② グループ活動・動画制作(8~10時間)

過去の受賞作品の視聴、動画の作成計画、必要な調べ学習、物作り、撮影など。早く終わったグループは後述の期末レポートの作成に取り掛かった。

#### ③ 発表・鑑賞(1時間)

各グループが作った動画を見て、感想を述べる。

### 第3次 期末レポート(11月~2月 1月に休校を挟む。)

#### ① 第1次、第2次の内容をまとめる(3時間)

② 第1次、第2次で考えた解決策について、批判的に考察する(デメリットや実現可能性について調べたり、どのくらいの効果があるのかをデータで示す)。(3時間)

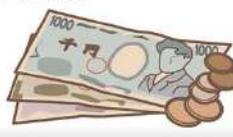
#### ③ 教員の指摘をもとに、改善する。(1~3時間)

## 子どもたちの反応・感想

### 子どもたちの作った動画より

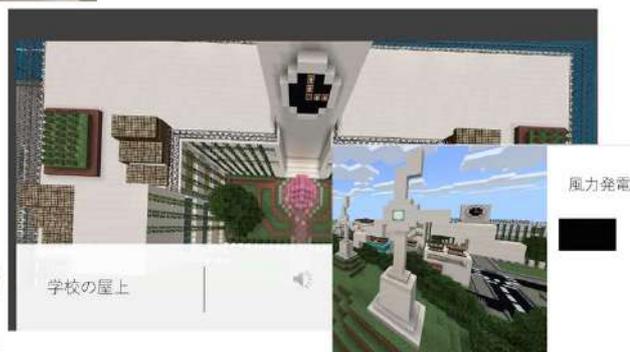


あなたがお金やベルマークなどを寄付するだけでも、このようなたくさんの方に使われ、貧困の子供たちが笑顔になります。



それを阻止するには...  
プラスチックをポイ捨てせずに、

**リサイクルすることが  
大切なのです!!!**



# 地球の未来を考えよう

学校名:香芝市立下田学校 名前:黒石 裕介

対象	5年生	単元名	地球の未来を考えよう
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 地球上で起こっている諸問題について知る その2 17の行動目標について理解する その3 日本や世界の現状に対して、自分たちにできることを考える
時間	10時間		
参考資料	アイデアブック		

## 期待できる学習効果

- ・その1 現在の世の中(日本や世界で起きているさまざまな問題)についての理解が深まる。
- ・その2 身のまわりの出来事に対して以前とは別の視点から見ることによって、新たな気づきが生まれる。
- ・その3 正解がはっきりしていない問題に対し、現状の知識・技能を活かした対応策を考える力が身につく。

## 授業内容

### 1. 導入

- ・SDGsとは何か
- ・世界や日本の現状
- ・国連について

### 2. アフリカの国々と日本のつながり

身のまわりの食料や工業製品の中で、一見そうは見えなくても実はアフリカの国々からの輸入が支えになっているものを知ることによって、世界の諸問題が巡り巡ってわたしたちの生活に影響を与えることがあるということを理解する。

### 3. 食料生産とフードマイレージ

社会科の学習で食料生産について学び、日本は海外からの輸入がなければ安定して食料を手に入れられないと知った。その後、総合ではフードマイレージについて学び、社会科とは別の視点から食料の輸入について考えた。

### 4. 権利とは

自分たちの生活に関わる権利について知ること、権利が保障されていない状況で生活している人々もいる現状について考えた。

# 地球の未来を考えよう

学校名:香芝市立下田学校 名前:黒石 裕介

## 授業内容2

### 5. 限りある水資源

日本では何気なく使っている水だが、地球全体で考えると人類が使える水はごくわずかしかない。また、わたしたちの水の使い方次第で環境への負荷が変わる。これらのことを知り、環境のために自分たちにできることを考えた。

### 6. 環境問題についての調べ学習・発表会

これまでの学習を活かしながら、地球上の諸問題について調べ(グループ活動)、「地球環境を守りながら生活し続けるためにわたしたちはどうすればいいのか」というテーマで、今後の行動を提案するプレゼンテーションを行った。

### 7. わたしたちにできること

各グループのプレゼンテーションを聞いて、地球の未来のためにわたしたちにできること(行動目標)を学級ごとに考え、掲示した。

## 子どもたちの反応・感想

### 各グループのプレゼンテーションを聞いた感想

- ・どのグループの提案も、コツコツと協力していきたいと思った。
- ・自分たちにできることを、もっと調べてみようと思った。
- ・いろんな活動によって地球の未来が変わると思った。
- ・今日発表を聞いたことで、生活を見直していこうと思った。

# 考えよう！未来のために、未来のこと

学校名:いわき市立泉北小学校 第4学年 名前:学年主任 佐藤 登

<b>対象</b>	小4	<b>単元名</b>	考えよう！未来のために、未来のこと
<b>科目</b>	総合	<b>目標</b>	その1 サステナブルな社会について考え、SDG'sを知る。 その2 SDG'sの17の目標から世界や日本の問題に気づくことができる。 その3 未来について想像しながら、未来のためにできることを考えることができる。
<b>時間</b>	10時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック SDG'sアイデアシート (ベネッセ)等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 「サステナブル」な社会について考えることで、人口増加、自然破壊、地球温暖化に気づき、そのことから世界の目標「SDG's」が生まれたことを知る
- ・その2 17の目標について、調べることで世界や日本の問題点に気づきことができる。
- ・その3 学習したことから自分たちにできることを考えることができる。

## 授業内容

### 導入(2/10時間)

- 1 SDGs for school認定エドゥケーターの話聞く  
パワーポイントを使って、どうして「サステナブル」な社会について考えることの必要性を知る。  
(エドゥケーターが説明することで、子供たち一人一人にわかりやすく配慮することができる。)  
また、SDGsの子供むけの映像を視聴する。  
(ユニセフやベネッセなどの動画を視聴した。)

### 展開(3/10時間)

#### 2 SDGsの17の目標について調べる

(1) 目標1から目標5までを調べる

(2) 目標6から目標11までを調べる

(3) 目標12から目標17まで調べる

- ・SDGsアイデアシートを使い、前時見た動画を参考にクイズに答え、考えを深める。  
(シートにクイズがあり、興味を持ちやすい。)
- ・SDGsスタートブック(EduTownアライアンス)を使い調べる。  
(目標の内容と事例が分かれていて、子供たちが取り組みやすい。)
- ・未来を変える目標SDGsアイデアブックを使い調べる。  
(マンガがあり、きよみを持ちやすいが、小4にはルビがなく読むのは難しい。)

# 考えよう！未来のために、未来のこと

学校名:いわき市立泉北小学校 第4学年 名前:学年主任 佐藤 登

## 授業内容2

深める(2/10時間)

3 17の目標から、気になる目標を詳しく調べる

(1)自分が一番気になった目標について考える。

(2)どんな未来になったらよいか、考える。

(3)その未来にするためにどうしたらよいか考える。

(4)自分たちにできることを考える。

・アイデアシートをもとに学習を進める。

まとめる(3/10時間)

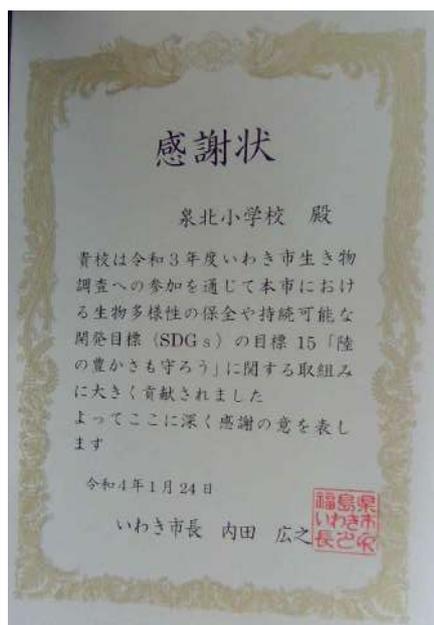
4 考えたことを新聞にまとめて、みんなに知らせる。

(1)新聞にまとめる。

(2)みんなで読みあい、共有する。



※夏休みの課題として市の生き物調査に参加しました。(感謝状が届きました。)



# 知ろう！学ぼう！SDGs

学校名：笹尾西小学校 名前：徳田 和洋

<b>対象</b>	5年生	<b>単元名</b>	総合的な学習「SDGs」
<b>科目</b>	総合的な学習	<b>目標</b>	その1 SDGsについて知ろう ～出会う～ その2 自分のテーマを持ってSDGsを調べよう ～学び伝える～ その3 SDGsを自分事としてとらえよう ～伝え行動する～
<b>時間</b>	9時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック、ネット資料等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 世の中のキーワードとなっている「SDGs」について学ぶことで、子どもたちの視野を広げる
- ・その2 「SDGs」について調べ、まとめ、プレゼンすることを通して、子どもたちの表現力、伝える力を付ける
- ・その3 「SDGs」についての学びを通して、「SDGs」を自分事としてとらえ、行動を取ることができる

## 授業内容

- ① 「SDGs」って何だろう？
  - \* 「SDGs」についての既存知識をみんなで交流する
  - \* 「SDGs」の17の目標について、アイデアブックから知ろう
- ② 「SDGs」の17目標のダイヤモンドランキングを作ってみよう
  - \* ダイヤモンドランキングを自分なりにつくることで、自分が一番調べたい目標を選ぶ
- ③ 「SDGs」を調べまとめよう
  - \* ②で選んだ目標について、アイデアブック、インターネット等で調べ、個人タブレットのスライドにまとめる。
  - \* まとめる項目は  
1 目標 2 調べた理由 3 分かったこと 4 自分にできること・感想
- ④ 「SDGs」を伝えよう
  - \* ③のスライドを、みんなに発表しよう
  - \* 友達の発表から学んだことを交流しよう
  - \* スライドは、一覧にて印刷し、教室前廊下に掲示することで、下級生の子どもたち見えるようにした。

学校名: 笹尾西小学校 名前: 徳田和洋

## 授業内容2

### 課題点等

- ① 過去に中学生で取り組んだことを考えると、普通の小学生にとっては、アイデアブックを読み解くことにはかなりの時間を要する。結果、授業時数が増えることが課題である。
- ② タブレットを使用することで、すっきりとまとめることができた。「伝えたいこと」をシンプルにまとめることができた。
- ③ 小学校の授業の可能性として、5年生・6年生が学んだあと、「SDGsを1年生に伝えてみよう」というテーマを付け足すと、「子どもから子どもへ」という学びのリレーが作られるのではないかと思う。  
大人、教師が考えるよりも、シンプルに低学年の子どもたちに「SDGs」が伝わるのではないかと思う。

## 子どもたちの反応・感想



# 環境問題以外のSDGsの目標に目を向けよう

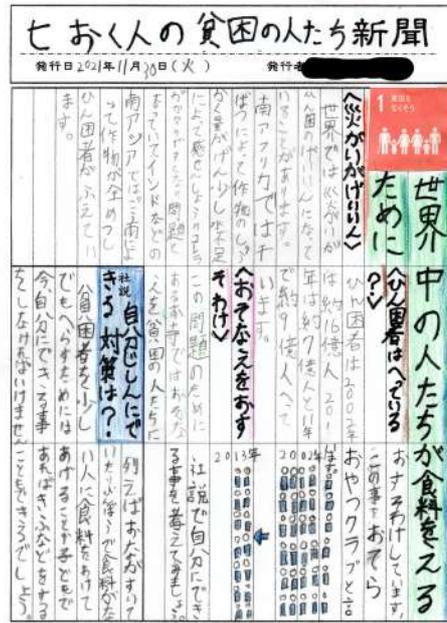
学校名:小美玉市立小川南小学校 名前:横田裕二

対象	4学年
科目	総合的な学習の時間
時間	10時間
参考資料	アイデアブック等

単元名	ぼぼんた共和国環境問題研究所
目標	<p>その1 SDGsの目標について知り、自分事ととらえる。</p> <p>その2 自分たちの未来にとって、何が問題かをとらえることができる。</p> <p>その3 自分自身に課題について、主体的に調べることができる。</p>

期待できる学習効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その1 SDGsについて自分事としてとらえることができる。</li> <li>・その2 書籍を使って、必要なことを調べる力が伸びる。</li> </ul>
-----------	---

授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 SDGsの17の目標について知る。</li> <li>2 最も気になった目標について、『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』で読む。</li> <li>3 読んで学んだことを新聞にまとめ、他の人に知らせる。</li> </ol>
------	---



# SDGs ～私たちにできることを考えよう～

学校名: 杉並区立荻窪小学校 名前: 安達友紀

<b>対象</b>	5年	<b>単元名</b>	SDGs ～私たちにできることを考えよう～
<b>科目</b>	総合的な学習の時間	<b>目標</b>	その1 SDGsについて知る その2 私たちにできることについて考える
<b>時間</b>	10時間～12時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 SDGsについて知ることにより、私たちの生きる社会でどのような問題が起きているのか、社会の全体像を把握することができる。
- ・その2 自分たちの身近にある課題に気づき、問題解決のため行動につなげることができる。

## 授業内容

- 1 SDGsとは何かを知る。
- 2 17の目標から、グループごとに関心のある目標について選び、関連のある社会問題について調べ、話し合う。
- 3 自分たちに身近な課題について考える。
- 4 3で挙げた課題について、私たちにできることを考え、発表する。
- 5 4で考えたことを実践する。

## 子どもたちの反応・感想

- ・ SDGsを知ること、身の回りで見かけるSDGsの取り組みに関心をもつことができるようになった。
- ・ 自分の関心のある目標を選んで調べ学習を行うことで、子供たちが主体的に考え、学習に取り組むことができた。
- ・ アイデアブックなど十分な数の本を用意できたため、インターネットだけでなく様々なメディアから情報を集めていた。

# いろいろな国のSDGsを紹介しよう

学校名: 枚方市立東香里小学校 名前: 森 麻子

対象	3年生	単元名	
科目	総合科		「いろいろな国のSDGsを紹介しよう」SDGs新聞づくり
時間	10時間	目標	
参考資料		その1	いろいろな国のSDGsの取り組みについて知ろう
		その2	調べたことをグループで新聞にまとめ、発表しよう
		その3	お互いの発表を聞いて、自分にできることを考えよう
	アイデアブック		

## 期待できる学習効果

・SDGsに取り組むさまざまな国を調べ、発表することで、世界と日本、自分たちのつながりについて考えることができる。SDGsの課題を自分ごととして捉え、「だれ一人取り残さない」社会の実現を目指そうとする姿勢を育む。

## 授業内容

### 授業内容や授業のポイントなどを教えてください

科目と単元: 国語科「外国のことを紹介しよう」、総合「いろいろな国のSDGs」SDGs新聞づくり

参加人数: 3年生 2クラス 61名

授業時間: 10時間

計画: 東京書籍 国語科「人をつつむ形～世界の家～」から「外国のことを紹介しよう」に学習をつなげ、総合「いろいろな国のSDGs」に取り組む

3年生では年間を通してSDGsの学習に取り組んできた

2学期にはNHK for school「ひろがれ いろとりどり」を活用して、子どもの権利条約について学びながら、SDGsカルタづくりに取り組んだ。

3学期には、国語科の「人をつつむ形」の学習で他国の生活を学んだり、「外国のことを紹介しよう」で他国について調べて紹介する単元があるので、学びを広げ総合で「いろいろな国のSDGs」に取り組んだ。

2学期にSDGsについて学んだ際に、「日本でよかった」「発展途上国の人たちはかわいそう」という感想が見られた。3年生らしい感想ではあるが、世界の課題を「自分ごと」として考え「だれ一人取り残さない」社会の実現について考え、自分にできる行動計画を立て実践できる子どもたちに成長するよう計画を立てた。

本学習は、探究的に学びを展開し、課題から他国を見るのではなく、それぞれの国の長を捉えて紹介するという目標からバックキャストして、学びを深めた。①『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』から、関心のある目標を選ぶ、②課題に取り組む国々の長を調べる、③世界の国々がSDGsの課題にどのように取り組み解決しようとしているのかを調べ新聞にまとめる、④お互いの発表を聞いて、自分たちにできることを考える、という流れで進めた。

これから多様な価値観に出会う子どもたちが、世界の国や地域を「外国」と自分たちと切り離して考えるのではなく、abroadの語源のように「ドアの外に広がる世界」と捉えられるよう、「外国のことを紹介しよう」ではなく、総合「いろいろな国のSDGsを紹介しよう」の単元で探究学習に取り組んだ。





# いろいろな国のSDGsを紹介しよう

学校名: 枚方市立東香里小学校 名前: 森 麻子

## 学習成果物 SDGs新聞 グループ

### いろいろな国のSDGs新聞 No.(1)



中国  
小さい星がそれぞれ、工場で働く人、お百姓、お金持ちの人、貧しい人を表して、そんな人たちが一つの目標（大きな星）のために協力して国を大きくしよう。という意味です。

中国では水餃子が主流であり、焼き餃子は水餃子に比べるとその数がずっと少ない。また中国では餃子は主食として食べられることが一般的であり、日本のように（白飯の）「おかず」としては食べない。



餃子



これが中国のお金です。中国のお金には、一円玉は、銀色、五円玉には、金色です。

### いろいろな国のSDGs新聞 No.(2)



中国では1月1日からお正月をお祝いするので、中国のお正月は1月下旬から2月中旬。これは毎年変わります。街はいたるところが赤、黄色、金色でかざりつけられ、ししめいやりゅうのまい、竹馬おどりなどの伝統的な出し物がひろわれます。

電気がまだふっきゅうしていないころ、今も木炭や、石炭のコンロで生活していて、家屋内にたいりゅうする、おせんぶついですってなくなる人が多い。




中国では、二酸化炭素(CO2)の排出が世界最大である。地球温暖化の1番の原因として二酸化炭素が増えること。地球温暖化の影響で異常気象や生態系の変化、海面上昇をもたらす。

### いろいろな国のSDGs新聞 No.(3) 感想

- エネルギーで困っていたりエネルギーががだすけむりで困っている人がいることを知った。

電気は身近にあるのが当たり前ではなく一部の人は電気やエネルギーが無くて困っている人がいたので電気を使えることに感謝しようと思いました。

中国ではCO2が世界最大であることがわかりました。それを戻すためには、世界中の人たちが協力したりすることが大事なことがわかった。そして、SDGsは世界中の人が協力あって、平和な国にする目標なことがわかりました。

電気がふっきゅうしていない頃は、焚き火などで暮らして2011年になったらやっと電気がつかえるようになって2011年より昔は大変だったんだなーと思います。

## 児童の様子や反応 SDGsカルタづくり



# いろいろな国のSDGsを紹介しよう

学校名: 枚方市立東香里小学校 名前: 森 麻子

## 児童の様子や反応 いろいろな国のSDGs 1



## 児童の様子や反応 いろいろな国のSDGs 2

### 児童の様子や反応



# いろいろな国のSDGsを紹介しよう

学校名: 枚方市立東香里小学校 名前: 森 麻子

## 児童の様子や反応 いろいろな国のSDGs 3



## 児童の様子や反応

- ・アイデアブックは、まとまった冊数を寄贈していただいたので、グループに3冊など児童が手に取りやすい学習環境ができたので、興味を持って取り組むことができた
- ・SDGsの学習に取り組む中で、自主学習で国旗や、関心のある国、SDGsの目標、日本での取り組みについて、主体的に調べてくる児童が出てきた。
- ・2学期に行った「なかよし行事」(児童会フェスティバルのような行事)では、クラスの出し物でSDGsクイズを主体的に考え、学校の人たちに楽しんでもらえた。
- ・学年の学びのまとめとして、SDGs新聞づくりに取り組むことで、3年生なりに課題を設定し、話し合って考えを深め広げることができた。「だれも置き去りにしない」ということについて、考え行動目標を立てることができた児童もいた。まだ、自分で答えを出すのが難しい年齢ではあるが、お互いの考えに触れ、できる行動目標にチャレンジしてみようという気持ちが芽生えている。

# SDGsとつないでみよう

学校名:天童市立干布学校 名前:長岡 なつ美

対象	3年	単元名	SDGsとつないでみよう ~大豆博士になろう~
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 SDGsについて知り, 興味をもつ。 その2 これまで総合の学習で学んできたことがSDGsにつながることに気づく。 その3 SDGsで自分にできることを考える。
時間	5時間		
参考資料	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 アイデアブックを読むことで, SDGsについて知り, これから自分達にできることを考えていくきっかけになる。
- ・その2 自分達が学習したり, 生活したりする中で, SDGsにつながることもあることに気づくことができる。
- ・その3 これからの生活において, SDGsについて関心をもつことができる。

## 授業内容

### ①SDGsについて知ろう

- ・インターネットサイトを使って, SDGsの17の目標の分類を試みる。
- ・アイデアブックを用いて, くわしく調べる。
- ・自分なりの分類の理由をもつ中で, 目標について知る。

### ②これまで学習してきたことが, SDGsとつながる点を考えてみよう。

- ・自分達の学校生活の中で, SDGsにつながることをクラゲチャートで考えてみる。



# SDGsとつないでみよう

学校名:天童市立干布小学校 名前:長岡 なつ美

## 授業内容2

・総合の学習で学んできたことがSDGsとつながるか考えてみる。



③これから自分達の生活の中で、SDGsにつながることを考えていこう。

## 子どもたちの反応・感想

### 【感想】

- SDGsってはじめはどんなことかわからなかったけれど、本を読んだり調べたりして少しわかるようになりました。
- SDGsは2030年までに達成するという事は、ぼくたちが17才になるまでに達成しなければいけないということがわかりました。
- ぼくたちがやっていることにもSDGsにつながることもあることがわかりました。
- 一つの目標にもいろんな中身が入っているし、一つの行動にもいろいろな目標が関係していることがわかりました。
- わたしたちにできることを考えていきたいと思いました。
- ソイキャンドルは、ススをあまり出さないで、「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」やせっかく作ったので、「12 つくる責任つかう責任」につながるかなと思いました。
- クラゲチャートにどれが当てはまるか考えるうちに、目標のことがわかるようになりました。

# 基町での学びをヒロシマから世界へ発信しよう

学校名: 広島市立基町小学校

名前: 村上義朗 来須真紀 松永保子 見渡英治 原野佳奈

<b>対象</b>	第6学年	<b>単元名</b>	基町での学びをヒロシマから世界へ発信しよう
<b>科目</b>	総合的な学習の時間	<b>目標</b>	その1 日本や世界にどんな課題があるかを知る。 その2 課題解決のために、自分達にできることを考える。 その3 学びを全校児童に紹介し、命と気持ちを大切にした多文化共生の基町小学校で共に学び合うことを呼びかける。
<b>時間</b>	時間を記載		
<b>参考資料</b>	アイデアブック 世界平和度指数 世界難民地図 等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 様々な事例を通して、目の前のこと以外にも目を向けることができるようになる。
- ・その2 課題を認識し、課題解決方法について、自分ごととして考えることができるようになる。
- ・その3 最高学年として、自らの学びを自らの言葉で学校全体の学びにつなげることができる。

## 授業内容

- ①世界平和度指数について学ぶ
- ②世界の紛争、難民について学ぶ
- ③基町小学校の被爆カンナについて学ぶ
- ④児童労働について学ぶ
- ⑤世界の労働環境について学ぶ
- ⑥核について学ぶ ～ゲストティーチャー渡辺朋子さんからお話を聞く～
- ⑦SDGsについて学ぶ
- ⑧自分について考える
- ⑨「国際理解の日」に向けて学びを深める

# 基町での学びをヒロシマから世界へ発信しよう

学校名: 広島市立基町小学校

名前: 村上義朗 來須真紀 松永保子 見渡英治 原野佳奈

## 授業内容2

授業内容①～⑥とSDGsを関連付け  
自分たちにできることと  
SDGsの目標を結びつけた。  
そして発表へ

# めざせ！ エコ博士

学校名:伊予市立下灘小学校 名前:川留 千春

対象	5年生	単元名	めざせ！ エコ博士
科目	総合・社会	目標	その1 自分たちの生活と環境との関わりについて、SDGsの目標を中心として調べる活動を通して、環境を大切にしようとする態度を養う。 その2 自分たちの生活と環境との関わりについて、課題を見付けて詳しく調べる。 その3 調べたことを基に、自分たちにできることを実践したり、発信したりする。
時間	78時間		
参考資料	アイデアブック SDGsに関する書籍		

## 期待できる学習効果

- ・その1 身の回りの環境問題やSDGsについて、関心を持つことができる。
- ・その2 環境問題についての課題を知り、課題を解決するための方法を考えることができる。
- ・その3 調べたことや実践したことを発信することができる。

## 授業内容(1学期)

### <SDGsについて知ろう>

- アイデアブックやインターネットを利用して、17の目標の中から、自分の興味のある目標について調べ、パソコンを使って新聞を作った。
- 色紙で、SDGsのキャラクターである「G'sくん」を作った。

## 授業内容(2学期)

### <海の環境について調べよう>

- 社会科で水産業の学習をした際、地域の漁協の方にゲストティーチャーとしてVTR出演をしていただき、地域の水産業についての課題や環境問題についての話を聞いた。また、栽培資源研究所の見学を行い、所員の方から愛媛県の水産業や、環境問題についての現状を教えていただいた。学習して分かったことを、タブレットを使ってプレゼンテーション資料にまとめた。
- 自分たちにできることとして、地域の海岸に出かけ、ごみ拾いをした。漂流ごみだけでなく、プラスチックごみが多いことに気付いた。



# めざせ！ エコ博士

学校名：伊予市立下灘小学校 名前：川留 千春

## 授業内容(3学期)

### <リサイクル工作をしよう>

- 身近な廃材を使って、リサイクル工作を作り、低学年の友達を招待して、遊んでもらうことにした。最初に、これまでに学習したことをまとめたプレゼンテーションスライドを見てもらい、SDGsについて簡単に説明したり、クイズを出題したりした。その後、牛乳パックやペットボトル、ジュースなどの容器を使った、「輪投げコーナー」、「キューブコーナー」、「飛行機コーナー」、「魚つりコーナー」に分かれ、密にならないように工夫しながらに遊んでもらった。



## 子どもたちの反応・感想

最初は、SDGsについて、聞いたことはあっても、詳しい内容については知らない児童が多かったが、アイデアブックをいただき、総合的な学習の時間に調べ学習を行ったり、社会科や家庭科等、他教科の中でもSDGsについて学んだりしたことで、SDGsについての理解を深めることができた。

### <子どもたちの感想>

- 絶滅の恐れがある動物がたくさんいることを知り、驚いた。必要以上に木を切ることはいけないと思った。森を大切にしたい。
- エネルギー資源や水を大切にしなければならないと思った。節電や節水に心掛けたい。
- 総合の学習や、社会科の水産業についての学習を通して、陸や海の環境を守っていくことの大切さを学んだ。
- SDGsの学習を通して、世界中には、困っている人がたくさんいることを知った。もっと世界に目を向けて、調べてみたいと思った。
- 自分にできることはいろいろあることを知った。これからも、身近にある川や海のごみ拾いをしたり、リサイクルをしたりしていきたい。

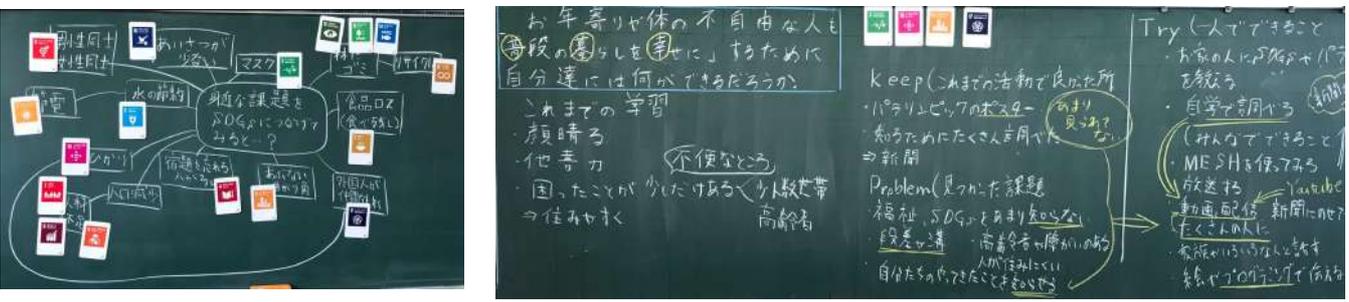
# SDGsミニ新聞をつくろう

学校名:野田市立七光台小学校 名前:上園雄太

対象	5年
科目	総合
時間	3時間～
参考資料	アイデアブック等

単元名	SDGsってなんだろう？ミニ新聞にまとめよう。
目標	その1 SDGsとは何かを知る その2 SDGsについて書かれているページの内容を読み取り, 要約する その3 SDGsの項目について概要を理解し, 福祉の問題に結びつける

期待できる学習効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・その1 世界や日本の課題について関心をもつことができる。</li><li>・その2 説明文から重要な部分や伝えたい部分を読み取り, 要約することができる。</li><li>・その3 SDGsを身近な問題に結びつけ, そこからできることを考えることができる。</li></ul>
-----------	---

授業内容	<p>①SDGsについてPPTや動画資料などで概要を知る。</p> <p>②事前にSDGsマークの掲示物を作成しておき, 普段の授業で活用して様々な場面で関連していることを意識できるようにする。</p>  <p>③A6サイズの下紙に新聞の様式を印刷し, 15～30分で指定したページを要約した新聞を書かせる。</p> <p>④A6サイズのミニポケットを人数分貼った模造紙を用意し, そこにミニ新聞を書きためていく。</p>
------	---



# より良い発表にするための話し合いを行い、改善案を出し合おう

学校名:目黒区立上目黒小学校 名前:田村 彩乃

<b>対象</b>	第4学年	<b>単元名</b>	共に生きよう
<b>科目</b>	総合的な学習の時間	<b>目標</b>	その1 体験的な学習を通して、障がいのある人が暮らしやすい社会にするための課題を見つけることができる。 その2 友だちと協力して、課題解決を図ることができる。 その3 福祉について自分事として捉え、自分にできることを考えて生活に活かそうとすることができる。
<b>時間</b>	22時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 車いす体験、手話体験、点字体験等を行うことで、障がいをもっている人がどのようなことで困っているのかに気づき、課題設定をすることができる。
- ・その2 それぞれが立てた課題に対して調べ学習を行い、自分のこれからの生活に活かせるよう、自分事として考えまとめることができる。
- ・その3 みんなが共に生きていける社会になるための工夫を考えることができる。

## 授業内容

### 1 学習の見通しをもつ。

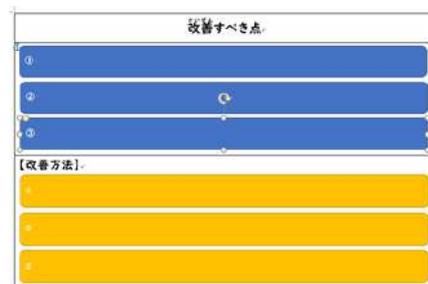
- ・児童が主体的に活動できるよう、要点をまとめて指示を出す。

### 2 リハーサルの振り返りをし、より良い発表にするためにグループで話し合う。

- ・視点カードを提示し、話し合う視点を明確にする。付箋を色分けすることで、視覚的に思考を整理できるようにする。

- ・誰のためなのか
- ・自分たちの考えは入っているか
- ・一緒に生きていけるか（提案）

- 赤：よかった点
- 青：改善点
- 黄色：改善案



- ・付箋や短冊の活用によって考えを視覚化することで、客観的な整理や分析がすることができるようにする。

- ・グループ1:車いすの構造、グループ2:日常生活での工夫(肢体不自由)、グループ3:音の聞こえ方・補聴器、グループ4:日常生活での工夫・手話(聴覚障がい)、グループ5:白杖について、グループ6:点字について、グループ7:日常生活での工夫(視覚障がい)。

# より良い発表にするための話し合いを行い、改善案を出し合おう

学校名:目黒区立上目黒小学校 名前:田村 彩乃

## 授業内容2

- 3 クラス全体で改善案を共有する。
  - ・他のグループの話し合いの内容を共有することで、改善案が出てこなかったグループのヒントになるようにする。
- 4 次回の発表準備ができるよう、やるべきことを各グループで確認する。
  - ・次回の見直しをもてるようにする。

## 子どもたちの反応・感想

### 成果

- ・単元の目標(ゴール)を意識して、児童が学習に臨むことができた。
- ・児童はよく考え、改善案を検討することができた。
- ・改善策を生かしながら発表を再考するように指導計画を工夫することで、児童の発表内容がより具体的となり、学びを深めていた。
- ・障害の方を見かけた際に、進んで声をかけたり手助けをしたりするなど、学習で学んだことを生かし、行動に移す児童が見られた。

### 課題

- ・改善策を出し合う際に、児童がペアを作り具体的なアドバイスをするなど、学習形態を工夫する必要がある。

# R3幸せってなんだろうプロジェクト

学校名: 松山市立味生第二小学校

対象

5・6年生

科目

総合的な学習の時間

時間

12回

本当の『幸せ』ってなんだろう？  
～見つめよう 仲間との絆・世界との絆 探そう 自分のできること～

## (1) 単元のテーマ・目標

- ① 自分を見つめ、自分の身近な人々とのつながりを大切にする。
- ② 諸外国の生活の様子を知ったり、諸外国に自分たちでできることを実践しながら、幸せとは何かを考える。
- ③ 自分のこれからの生き方を考える。

## (2) 単元設定の理由

	日本	フィリピン
平均寿命	1位 84.2歳	123位 69.3歳
治安の良さ	9位	128位
教育水準	2位	不明
平均月収	20万円	2万7千円
幸福度 (昨日の幸福感)	52位	2位

日本は安全で食事や教育についても困ることがあまりないが、個人の幸福度は低い。これらは、「家族との過ごし方」や「仲間とのかかわり」などに理由があると言われている。フィリピンの人たちは、家族や地域がお互いに助け合ったり、今あるもので楽しく毎日を暮らしたりすることに幸福感を感じている。日本は物が豊かであるが、心が豊かであるとは言い難い。

そこで、フィリピンの小学生との交流や野外活動センターでの仲間との交流を通して、本当の幸せとは何なのか考えさせていきたい。そこから友達や家族とのつながりについて再考し、自分はたくさんの人に支えられていることに気付かせたい。さらに身近な関わりから、世界には様々な国があることを知り自分の置かれている状況と比べることで、高学年としてまた、社会の一員として役割を考えるきっかけとしたい。

## (3) 単元計画

<1学期>

月	時数	テーマ・ねらい	活動・内容	備考(使用教材)
5	1	『世界のとびらをあけよう』 「幸せって何だろう」	・自分が幸せって感じる時はどんな時が考える。 ・グループで話し合ったり、発表したりしながら、いくつかのテーマに分類していく。 (ex:自分のできること、友達、家族など)	
5 ～ 6	2  3	「世界がもし100人の村だったら」 ○世界の中で貧しいとされている国のことについて知る。  ○外国の生活について NPOの方から話を聞いたり、質問したりする。	<途上国について知り、考えたこと> ・世界には貧しいとされている国はいくつぐらいあるのか知り、本や動画を通して現状を知る。  ・幸福度は日本が低いことを知り、それはなぜか考えながら調べ学習をしていくことを伝える。  ・カンボジア支援を行っている高山良二様などから話を聞く。	「ぼくがラーメンを食べているとき」長谷川義史 「世界がもし100人の村だったら」池田香代子 NPO スタッフ

6	4~9	○世界の中で貧しいとされている国について調べ、発表ノートにまとめる。	・カンボジア ・ネパール ・モザンビークなどの子どもたちの生活の様子(食べ物、学校など)を中心に調べる。	インターネット 図書室の本 <b>SDGsの資料</b>
7	10 11・12	「調べたことを発表しよう」 ・発表の練習をしよう ・調べたことを発表しよう	・日本との共通点や違いに着目させながら、発表できるようにする。 ・日本よりも優れているところにも着目できるようにする。	

< 2 学期 >

月	時数	テーマ・ねらい	活動・内容	備考(使用教材)
9 10	4-7  8.9 10-21	「自分たちができること」 ○貧しい国に対して自分たちができることはないかグループで話し合う。 ・SDGs について知り、支援について話し合う。 ・話し合ったことをプレゼン形式で発表し、友だちやNPOの方からアドバイスをいただく。  ・グループごとに活動し、物資を送る。	・今までに学んだことや特技などを生かしてできることはないか考える。 ・SDGs についても知らせ、できることの参考にする。    <こんなことしてみたい> <地震災害に対してお守りを送ろう>	NPO スタッフ 例: 車椅子の贈呈 募金活動を行い、服や靴、眼鏡を送る(綺麗な物) 文房具を送る
11	22.23	「外国の小学生との交流」 ○日本から送った物を通して交流を行う。 ・お互いの国のゲーム等 ・送った物の紹介 ・質問コーナー	・お互いの国の遊びや歌を通してアイスブレイクを行う。 ・学校や家族のことなどについて質問し合い、日本との違いを感じ取らせる。	オンライン (Zoom)
12	24-27  28.29	「交流を通して」 ○交流(準備期間を含め)を通して感じたことを発表し合う。  ○これから家庭、学校、地域のために自分でできることはないか考え、実行する。	・自分の今の生活が当たり前でないこと ・自分が世界の役に立ったこと ・本当の幸せとは何か考え、物よりも家族や友達とのつながりがもっと大切であること等を感じ取れるようにする。	

< 3 学期 >

月	時数	テーマ・ねらい	活動・内容	備考(使用教材)
1 2	1  2  3-9	「みんなが幸せに感じるためにできることを考え、実践しよう」 ○フィリピンとの交流をもとに幸せについて考え、自分ができることを考え、実践する。	・ 本当の幸せとは、人との関わりであり、「友達との接し方でできること」、「家族とのつながり」についてできることなど分類分けし、自分でできることを考え、実践する。	
3	10	○振り返り	・活動を振り返り、自分にできることを続けたり、発展させていく。	

# アクション～未来を作るのは、わたしたちだ～

学校名:神奈川県葉山町立葉山小学校

対象

6年生

科目

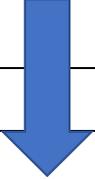
総合的な学習の時間

時間

30時間

令和3年度(2021年度)「総合的な学習の時間」第6学年 年間指導計画

単元名	
アクション～未来を作るのは、わたしたちだ～	
単元目標	
自分たちの住んでいる地球の課題に気づく。 課題解決をし、自分たちが未来を変えていこうとする資質を育てる。	
単元で育てたい資質・能力	
知識・技能	・SDGsを学ぶ中からさらに知りたい課題を見つけることができる。
思考・判断・表現力	・学んだことや感じたこと、自分の意見をまとめ表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・友だちと協力して課題を解決できる ・地域の人と進んで関わることができる。
単元の概要	
SDGs「持続可能な開発目標」は「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通な目標。これを軸に世界・日本で起きている課題に対して興味を持ち、調べ、自分たちでできることはないか(アクション)を考え、行動に移してしていきたい。 アクションの例 調べたことを発表したり、できることを挑戦してみたり、学校全体などに呼びかける。ポスター作りなど。 昨年度、講師として招いたシルワの川下さんと小さな森づくり「未来を作るプロジェクト」も行う。	

単元の展開		
	○小単元名 ・主な学習活動(予定時数) 等	○各教科との関連・外部の教育資源 等
4	○SDGsについて知ろう	道徳「未来に向かって」
5		○社会「基本的人権の尊重」「社会保障」「海外の政治と比較」
6		○道徳「大切な権利(世界人権宣言)」
7		○国語「森へ」
8		
9	○調べてきたことから、できることを考えていこう	○国語「わたしたちにできること」 ○道徳「自然を大切に」
10		○道徳「命をつなぐ」・「よりよい世界を目指して」
11		○道徳「つながる命」
12		○道徳「他国の人々を理解して」 「国際親善ーわたしたちにできることー」
1	○調べてきたことをまとめたり、形にしていこう	○道徳「郷土を大切に」
2	○森づくりプロジェクト→2月下旬から3月	○理科「生物と地球環境」

土づくり  
↓  
植樹

3	○アクションタイム	
---	-----------	--

## 授業内容

**1 学期** SDG s のことを知ることから始める。

1 7 の目標がどんなものがあるのかを調べる取り組みをする。

教師側から動画を見せたり、未来を変える目標 SDG s アイディアブックやタブレットを活用したりして調べていく。

1 7 ある目標の中から興味あるテーマを見つけていく。

**2 学期** 興味あるテーマに絞り、深く調べていき、6 年生でもできることはないか探していく。

友達と共同で調べ学習をするチームや個人で調べまとめ上げる児童もいる。

子どもたち同士で情報交換したり、アドバイスを出しあったりしながらまとめ上げていく。

**3 学期** その調べ上げてきた情報を全体に発表し共有したうえで、自分たちにできることを探す。

条件としては、お金をかけず、無理なく続けていけること。

条件に合うもので自分達や家族とできること探し、実際に 1 週間から 10 日ぐらい続けてみて新たな発見を探す。

## 授業するポイント

SDG s が遠い世界で起きていることのための目標ではなく、日本に関係していること、そして、子どもたちがこれから生きていくうえですごく身近なことだと感じられるように授業づくりしていく。

例えば、動画を見せたり、本を読みながら、日本でも同じように起きている問題はないかと「ジブンゴト」として考える機会を多くとる。

1 2 つくる責任    つかう責任    1 3 気候変動に具体的な対策を  
1 4 海の豊かさを守ろう    1 5 陸の豊かさを守ろう    など

押しつけや教え込みではなく、子どもたちのわくわく感を駆り立てる。

「自分たちの頑張りが世界を救う」という達成感を感じさせる。

## 子どもたちの反応・感想

- ・生活の中で環境について考える時間が増えた。
- ・SDG s 関連のテレビを見たり、調べたりするようになった。
- ・地球の危機や差別など様々な問題があることを知った。
- ・街中にあるゴミを拾うようになった。
- ・大雪や地震、大雨や異常気象がおこったらこれも SDG s に関係している問題だと思えるようになった。
- ・5年生の時は、SDG s なんて知らなかったし、勝手に世界は平和になったり、自然が残ったりすると思っていたけど、6年になり学習してみてもびっくりした。それ以上に「私もプラスチック沢山使ってたし、ゴミもたくさん捨てられたりしてて」人間のせいで地球が汚れているのを知ってショックでした。でも学習してきて、17個中7個の目標に対してできることがあって「これなら私でもできる」と思った。友達とSDG s のことをやるのも楽しいし、1個ずつ解決したいと思いました。
- ・世の中ではいろいろなニュースが飛び交うけど、そんななかで「環境に対してはどうなのか？」という一つの視点で見れるようになった。前に比べ、漁業や生態系についての環境項目をよく調べるようになった。
- ・子どもだけでも、自分に出来ることがたくさんあることを知った。自分でできることをしたいと思った。
- ・2030年ってかなり先の未来だし、別にいいよねって思ってたんだけど、どんどん壊れていくって思うと結構ヤバいんだなって実感が湧いてきた。
- ・学習する前は、食品ロスとか海のごみなど気にしていなかったけど学習してみて、地球温暖化やポイ捨てなどが身近な問題と知って普段の生活を気を付けるようになった。
- ・「どうせ誰かがどうにかしてくれるでしょ」と思っていた。海の状況を調べていたら、SDG s に協力しようという気持ちになった。今はゴミがそこら中に落ちていて、ニュースではきれいなところだけを映して、きっと映していないところでたくさんゴミがあると思うから、これからも協力していきたい。

## アクション

- ・エネルギーの学習をした児童が電気代のCO<sub>2</sub>フリープランに興味をもち、家の電気プランについて家族と話し合っている子がいる。
- ・海のごみ拾い。
- ・マイバック・マイボトル・節電・節水。・ストローを使わない。
- ・ペットボトルゴミを楽しくリメイクする。
- ・海洋プラでアクセサリー・キーホルダー作り。
- ・洗剤をつけすぎない→スポンジをヘチマに変更を考えている児童
- ・料理時に食材を無駄にしない。・ペットボトルの飲み物を買うのをやめた。
- ・ゴミ出し係を家でやるようになった。
- ・妹やおうちの人にSDGsについて説明し理解してもらった。
- ・リサイクルチョークづくり・ポスター作り・古本・古着を買う。
- ・買わずに作る（ブックカバーなど）
- ・買い物を制限している。買いすぎないように、必要のないものは買わない。

# SDGsすごろくを作ろう

学校名:郡山市立湖南小中学校 名前:近藤寛徳

対象

5年生

科目

総合的な学習の時間

時間

55時間

対象 5年

科目 国語・総合的な学習の時間

時間 55時間

参考資料

アイデアブック等

単元名 国語「みんなが過ごしやすい町へ」

総合「SDGsすごろくを作ろう」

目標

その1 SDGsとは何かを知ろう

その2 SDGsの取り組みを調べ、自分のできることを見つけよう

その3 SDGsについて学んだことを発信しよう

期待できる学習効果

- ・その1 SDGsの17の目標について理解を深めることができる。
- ・その2 17の目標を達成するために、自分できることを考えることができる。
- ・その3 より多くの人に、SDGsの取り組みを知ってもらい、共に取り組んでいこうとする態度を養うことができる。

授業内容

【国語】

- 「みんなが過ごしやすい町へ」という単元名を「SDGsを利用して、みんなが住みやすい地球へ」と変更し、みんなが住みやすい地球にするために大切だと思う目標について、「未来を変える目標SDGsアイデアブック」で調べ、分かったことや考えたことを報告する文章にまとめた。

## SDG s すごろくを作ろう

学校名：郡山市立湖南小中学校 名前：近藤 寛徳

### 授業内容 2

#### 【総合的な学習の時間（通年）】

##### ○1学期 SDG s って何だろう？

SDG s という言葉は聞いたことがあるが、どういうことなのかを知らなかった。まず、SDG s の意味や活動について考えた。意味などを理解した上で、国語科と合科的に取り組む中で、自分が大切だと思う目標について調べたり、考えたりした。

##### ○2学期 SDG s ってどんな取り組み？

「どうして17の取り組みができたのか」「日本や世界では、どのような取り組みがされているのか」「自分にはどのような取り組みができるのか」の3本柱で学習を進めた。世界が抱える問題から自分なりに考えたり、17の目標を達成するために、日本や世界で行われている取り組みから自分ならどれができるかについて考えたりする活動を行った。

##### ○3学期 SDG s すごろく作り（現在、作成中）

1、2学期に学習したことを基に、SDG s のすごろく作りを行った。すごろくのマスの内容やデザインを考えた。マスに関する写真や17の目標のイラストなどを入れながらマスを仕上げた。ロイロノート上ですごろくを作り、全校生にも触れてもらうことで、SDG s にみんなで取り組んでいけるようにする。

### 子どもたちの反応・感想

- SDG s への関心が高まり、授業中世界や日本のニュースの話題や発言が増えた。
- 1年間を通して、SDG s について考えてきたことで、SDG s に関連させながら物事を考えるようになり、自分ができるSDG s の取り組みをしようとする姿が多くみられるようになった。

# 持続可能な生活をするために自分たちができること

学校名:山形市立金井小学校 名前:高橋 章

<b>対象</b>	6年生	<b>単元名</b>	生物と地球環境
<b>科目</b>	理科	<b>目標</b>	その1 人の生活と持続可能な環境との関わりについて理解することができる。 その2 生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくり出し、表現することができる。 その3 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる。
<b>時間</b>	10時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 SDGsをテーマに年間を通して生物と地球環境の関わりを、多面的に考えることができる。
- ・その2 学年始めにアイデアブックを活用した集団読書を行うことによって、SDGsのレディネスをそろえることができ、情報交換時の根拠の資料の1つとして共通のデータベースとして活用できる。
- ・その3 自分の生活と持続可能な環境との関わりについて、理科や社会、家庭科、総合等の学習活動を通して学ぶことで、SDGsの全目標が繋がっている事実を、自分事として実感することができる。

## 授業内容

- ①教科書をグループで読み合い、生物と環境(水・空気・他の生物)との関わりを調べる。
- ②教科書P6～7の図とP190～191の図を比べて、「水・空気・食べもの」全てが関わりあっており、その関わりの中で人が生き、生活していることを理解する。
- ③水・空気・他の生物の中からテーマを1つ選び、人の生活と地球環境の関わりについて、いろいろな方法で調べる。
- ④これまでの自分の生活を見直し、持続可能な生活するために自分たちができることを考え、パワーポイントやノート等にまとめ、発表する。
- ⑤発表会后、1年間の学習を一人一人がふり返り、グループでシェアする。

# 今、地球で起きていることを知ろう そして、自分ができるところを提案しよう

学校名：山形市立金井小学校 名前：村山 豪

<b>対象</b>	6学年	<b>単元名</b>	ともに生きる(持続可能な社会を生きる) 今、わたしたちにできること(国語科)
<b>科目</b>	家庭科・国語科	<b>目標</b>	
<b>時間</b>	20時間	その1	持続可能な開発目標の存在を知り、地球で起きていることの知識を広げる。
<b>参考資料</b>	アイデアブック SDGsすごろく など	その2	地球で起きている問題を解決するために自分ができるところについて話し合い、自分の考えを深める。
		その3	自分ができるところの取り組みについての意見文を書き、提案する。

## 期待できる学習効果

- ・その1 SDGsアイデアブックを読むことで、自分たちの生活が当たり前ではなく、世界から考えると幸せな環境であることを実感することができる。
- ・その2 国語科の「今、わたしにできること」という単元とリンクすることで、「持続可能な開発目標」をより身近なものとして捉えることができる。
- ・その3 書いた提案文を他者に提案することを通して、SDGsの考えを広げることができる。

## 授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

- 1 国連広報センター作成の「SDGsすごろく」をして、SDGsの理解を深める。  
(学活)
- 2 「SDGsアイデアブック」やインターネットサイトを活用して、17の目標の中で特に興味がある目標を選択して調べ学習をする。  
(家庭科：持続可能な社会を生きる)
- 3 調べた内容を国語科の提案文を書く単元で学んだ形式に合わせて提案文を書く。  
(国語科：今、わたしたちができること)
- 4 SDGsに興味をもった4年生に向けて自分が書いた提案文の内容を提案する。  
(国語科：今、わたしたちができること)

# Challenger

金井小学校6年5組 R2. 5. 29 NO. 16

## SDGs 持続可能な開発目標

保護者の方々は『SDGs』ということばをご存知でしょうか。..

『SDGs』とは、「持続可能な開発目標」のことであり、これは、世界共通のことばであり、2030年の世界をよりよいものにするを目的に生まれたプロジェクトです。地球上にある豊かな自然や資源を未来に残し、誰一人取り残すことなく幸せに暮らせる世界を作るために、世界各国の人が取り組んでいます。..



1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに
3 全ての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
12 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
13 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

家庭科に「持続可能な社会を目指して」という単元があります。まさにSDGsの考え方と同じです。10年後の2030年の地球が今よりよい世界になっているために自分たちは何ができるのかを考えることが大切です。これは、子どもたちよりも大人の方が必要なのかもしれません。..

この学習の導入として、SDGsを取り上げ、田舎広聴センターが作成した『SDGsずこるく』を使い、SDGsについての理解を深めました。..



# Challenger

金井小学校6年5組 R2. 6. 9 NO. 21

今のくらしはあたりまえじゃない!!~SDGsを調べて、気づいたこと~



以前にもお伝えした SDGs。子どもたちは家庭科の学習を通して、大変興味をもち、調べ学習を重ねています。SDGsについてくわしく調べていく内に、学校に行けること・きれいな水が飲めること・お風呂いっばいご飯が食べられること・きれいなトイレがあることなどなど…当たり前だった日常が世界から見ると、とても幸せなことで贅沢であることに、

気がされました。..

また、海では、たくさんのペットボトルが捨てられ、大きさ5mm以下のプラスチックゴミ：マイクロプラスチックが海洋生物の命を脅かしていることも知りました。人間が人間のことだけを考え、便利さを求めた結果、地球上の様々な生き物に影響を及ぼしていることに怒りを感じている子もいました。..

SDGsに出会い、子どもたちに日本に対する見方、毎日のくらしに対する見方、そして、世界に対する見方が変容しているように感じます。..



調べれば調べるほど、何とかしたいという思いを膨らませる子どもたち。しかし、今の子どもたちは無力です。私たち、大人の意識を少しずつ変えていく必要があります。..

ぜひ、これを機会にお子さんと『SDGs』について考え、17の目標を達成するために、出来ることを相談し、実行してみたいかががでしようか。..

# Challenger

金井小学校6年5組 R2. 7. 7 NO. 41

## SDGs 小さなことだけど、私たちができることを提案します!!



氏名	
学号	
性別	
学年	
提出日	
提出場所	
提出者	
提出理由	
提出内容	
提出結果	
提出後	

この提案文は、SDGsの達成に向けて、私たちができることを提案するためのものです。

3時間の提案文作成タイムを経て、ようやく完成した「提案文」。月曜日の国語の授業で提案する学習を行いました。今回は、提案するので、書言葉ではなく話し言葉です。楷体で書いた提案文を軟体に言い換え、聞き手の反応を思いながら、提案することを心がけました。提案文を見て提案するのではなく、出来る限り聞き手を見て、提案するように伝えました。..

持ち時間は4分。6人1チームでの提案タイムにしました。..

聞き手の反応を確かめながら、提案することができましたが、ゆっくりとしたスピードで提案することができましたが、提案文を読まず、話し言葉で提案することができましたが、..

この3つの視点で提案者の提案を評価し、自分の提案も同じように、この3つの視点で自己評価しました。しっかりと調べ学習を行い、提案文を書く際に、自分の言葉に置き換えながらまとめていったことで、自分の考えもきちんと整理されていたため、堂々と提案する姿が多く見られました。今回、提案したことを日々の生活で心がけることができれば、SDGs達成に少しでも協力することができるのではないのでしょうか。..

# Challenger

全井小学校6年5組 R2. 7. 16 NO. 49



こちらの写真は、「私たちができること」の単元で、『SDGs』の視点で書いた提案文を使って、4-1の子どもたちに提案しているところです。自分たちが書いた提案文は、年下に向けての提案文ではなかったため、4年生でも理解できるように、ことばを変えて提案している姿が印象的でした。..

こちらの場面も、ノートや提案文などにらめっこするのではなく、きちんと膝を手を広げて、自分の思いを伝えている姿がたくさん見られました。..

今回、6-5の子どもたちには、書言葉と話し言葉を置き換える力、伝える相手に合わせてことばを選ぶ力を育てたいと考え、この学習を設定しました。早く終わってしまい、時間が余った時、無言で過ごすのではなく、再度、読み聞かせをしたり「わがなかったところない？」などと質問したりして、与えられた時間を上手に使う姿もありました。..

# この本おすすめします ～本からSDGs～

瑞穂町立瑞穂第五小学校 半田和子 田島佐知子

<b>対象</b>	5学年2クラス	<b>単元名</b>	この本おすすめします ～本からSDGs～
<b>科目</b>	国語-図書	<b>目標</b>	その1 SDGsとは何かを知る。 その2 本を通し、SDGsについて身近な問題として興味を持つ。 その3 SDGsについて自分事として捉え、実行しようとする心をはぐくむ。
<b>時間</b>	15時間×2		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- その1 SDGsとは何かを知る。
- その2 SDGsについて興味を持てる。
- その3 SDGsについて自分事として捉え、実行する心を持てる。

## 授業内容

### 1 SDGsとは何かを知る

5月

- ・「SDGsアイデアブック」(ひとり1冊)やポスターを使用しながら、今地球で起きている様々な問題に気づき、解決するための持続可能な17の開発目標を知る。
- ・「SDGsアイデアブック」は、貸出可能とし各々授業以外にも自由に読み進める。

### 2 本を通し、SDGsについて身近な問題として興味を持つ

6月以降

- 興味を持つきっかけとなるような様々なジャンルの絵本の読み聞かせ。
- その後でSDGs学習シート(資料①)に記入し、関連や気づきや思いを発表し共有する。

夏休み「本とSDGsと」(宿題)

- SDGsの視点で本を読む。関連する目標や感想をシートに記入、提出する。

9～11月

- 夏休みに読んだ本を、ビブリオバトル形式にて発表、学年全員で共有する。
- グループ内 →グループ代表でクラス内のチャンプ本(一番読みたくなった本)決定。
- その様子をグループの児童がタブレットで録画 →別のクラスにて視聴し、そのクラスのチャンプ本決定。

# この本おすすめします ～本からSDGs～

瑞穂町立瑞穂第五小学校 半田和子 田島佐知子

## 授業内容2

### 3 SDGsについて自分事として捉え、実行体験しようとする心をはぐくむ。

冬休み「本とSDGsと」(宿題)

SDGsの視点で本を読む。

関連する目標や感想、さらにそこから自分にできることを考えシートに記入する。(資料②)

1月

本の紹介と今自分ができることをグループ内発表、代表を決めクラス内発表

2月～3月

「〇〇からの手紙」(資料③)

- ・SDGsの視点から〇〇(もの・空間・時・場所など)になり、全校生徒に対して手紙を書く。
- ・グループ、クラス、他クラスにて読みまわし。
- ・玄関ホールに掲示し手に取って読んでもらう。(資料④)

※併せて、玄関ホールでは年間を通し、SDGsのそれぞれの目標に繋がる本を順に展示した。(資料⑤)

## 子どもたちの反応・感想

- ・ふだんの読書の中から、SDGsとの関連を見つけ出し、自分事として考えたり、行動への具体的なアイデアを出したりできるようになった。
- ・そこからさらに実践への道のりには、継続的な工夫や活動が必要と感じた。
- ・図書室のアイデアブックやSDGs関連図書を集めたコーナーでは、以前に比べてそこにある本を手にとったり借りたりする児童が増えた。

# 「みんなが過ごしやすい町」の報告文で伝えたいことを考えよう

学校名:目黒区立上目黒小学校 名前:高橋 詠子

<b>対象</b>	第5学年	<b>単元名</b>	みんなが過ごしやすい町へ
<b>科目</b>	国語科	<b>目標</b>	その1 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 その2 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 その3 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
<b>時間</b>	10時間		
<b>参考資料</b>	アイデアブック等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 理想と現実を比べ、祐天寺の町は理想に近いのか、改善点があるのか、自分事として捉えることができる。
- ・その2 「みんなが過ごしやすい町」に祐天寺の町がなるために、自分ができることを報告文のまとめることができる。
- ・その3 身近な課題から「今、私たちにできること」を考え、学習後の行動に結び付けることができる。

## 授業内容

- 1 前時のふりかえりをする。
  - ・調査したことを書いた付箋を読み、前時の学習をふりかえる。
- 2 付箋や、情報端末機器等で調べた結果を、パネルを使って同じ視点をもったグループごとに付箋を使って共有する。
  - ・同じ視点をもった児童でグループを組むことで、互いに共感し合い、自分の考えに自信をもたせる。
  - ・自分の調査だけでは気付かなかった情報や別の考えに触れ、考えを広げ深めさせる。
- 3 パネルに貼られた付箋を分類、整理する。
  - ・伝えたい事柄を選ぶことに悩んでいる児童には、パネルの写真を撮り、手元で見ることができるように支援する。
- 4 分類されたパネルを基に、調査報告文で伝えたい事柄が中心となるよう、メモを組み立てていく。
  - ・メモを組み立てていく過程で、自分ができることについて考えさせる。
- 5 次時の見通しをもつ。
  - ・調査報告文のひな形を提示する。



- ①みのまわりにある「もの」をつかって、いろいろなあそびを考えよう  
 ②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう

学校名：目黒区立上目黒小学校 名前：川島 久美子

対象	第2学年	単元名	
科目	生活科	作って ためして	
時間	21時間	目標	
参考資料	アイデアブック等	その1 動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、おもちゃの動きを工夫したり遊びを工夫したりすることができる。 その2 身近なものを使ってできる遊びのおもしろさ、素材のもつ特徴や不思議さ、約束やルールを守って遊ぶと楽しいこと、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓などをすると気持ちよく遊べることに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにする。	

## 期待できる学習効果

- ・その1 自分自身で作り出すエネルギー「転がる力」「飛ぶ力」「引っ張る力」「風の力」「くつつく力」を使った遊びを創造することができる。
- ・その2 地球や社会の仕組みを知り、身近で働く主事さんのインタビューに触れることで、限りある資源や環境の守り方、自分たちでできるゴミの分別や資源の無駄遣いをしないようにするなど考えることができる。
- ・その3 作り上げたおもちゃを保育園の園児に紹介し、遊んでもらう内容を取り入れることで、学校の枠を超え、より地域との交流をもち相手意識をもって活動することができる。

## 授業内容

### ①みのまわりにある「もの」をつかって、いろいろなあそびを考えよう

1 前時で考えた、自分たちができる資源の再利用について振り返る。

- ・用意している素材の写真を掲示し、どれを使うか選びやすくする。
- ・活動前後の手洗いの徹底や、ソーシャルディスタンスをとることを伝える。

2 素材を使って遊ぶ。【いきいきタイム①】【いきいきタイム②】

- ・思いや願いをもつための素材遊びの環境を確保する。
- ・いきいきタイム① グループA: 輪ゴム、袋、筒 グループB: 磁石、ひも、電池、キャップ
- ・いきいきタイム② グループB: 輪ゴム、袋、筒 グループA: 磁石、ひも、電池、キャップ
- ・素材のもつ目に見えない力や特徴、動きのおもしろさに気付き、約束やルールを守って遊んでいる児童とそれに達していない児童とを評価し、達していない児童への個別指導は「②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう」で行う。

3 後片付けを行う。

### ②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう

1 動かす力を使った遊びを紹介する。

- ・気付きの質を高めるために、教員の言葉掛けを工夫する。⇒「転がる」「飛ぶ」「くつつく」「引っ張る」などのキーワードを示す。
- ・前時の活動で、動かす力を発見した児童が考えた遊びを紹介することで、動かす力に着目させる。

- ①みのまわりにある「もの」をつかって、いろいろなあそびを考えよう  
②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう

学校名：目黒区立上目黒小学校 名前：川島 久美子

## 授業内容2

### ②みのまわりにある「もの」で動かす力をつかって、いろいろなあそびを考えよう

#### 2 めあてを確認する。

- ・動かす力を使うことを強調する。
- ・活動前後の手洗いの徹底や、ソーシャルディスタンスをとることを伝える。

#### 3 素材を使って遊ぶ。【いきいきタイム③】【いきいきタイム④】

- ・いきいきタイム① グループA：輪ゴム、袋、筒 グループB：磁石、ひも、電池、キャップ
- ・いきいきタイム② グループB：輪ゴム、袋、筒 グループA：磁石、ひも、電池、キャップ
- ・児童が素材のもつ目に見えない力や特徴、動きのおもしろさに気づき、約束やルールを守って遊ぶことができるように個別指導する。
- ・素材の動きを比べたり、予想したり、友達と競ったりしながら、遊んでいる児童を評価する。

#### 4 素材を使って遊ぶ。・グループB：輪ゴム、袋、筒 グループA：磁石、ひも、電池、キャップ

- ・児童が素材のもつ目に見えない力や特徴、動きのおもしろさに気づき、約束やルールを守って遊ぶことができるように個別指導する。

#### 5 思いや願いを付箋に書き、発表する。【振り返りタイム】

- ・自分たちの思いや願いを出し合い、付箋に書いて動かす力ごとに整理する。

#### 6 次時の活動を確認する。

## 子どもたちの反応・感想

### 成果

- ・児童が「資源を無駄遣いしない」「まだ使える」という考えをもって行動するようになった。
- ・児童が意欲をもち充実した活動を行うことができた。
- ・「転がる」「飛ぶ」「くっつく」「ひっぱる」「風」などのキーワードを示すことで、児童が動くおもちゃを作るという発想へスムーズにつながっていた。
- ・児童が次時に向けた目標をもつことができ、意欲が継続していた。

### 課題

- ・児童の発表において、言葉だけではなく、具体物(おもちゃ、動画、画像)を用いることで、より伝わりやすくなる。

# SDGsってなあに？

学校名:神通碧小学校 名前:安田汐里

対象 3年生

科目 道徳

時間 2時間

## 参考資料

アイデアブック等

## 単元名

SDGsってなあに？

## 目標

その1 SDGsについて知ろう

## 期待できる学習効果

- ・その1 世界の問題を知り、自分事として考えることができる。
- ・その2 日本と諸外国の環境や文化の違いを知ることができる。

## 授業内容

### 1時間目

- ①「SDGsってなんだろう」動画を視聴する。
- ②子供がイメージしやすいようにSDGsクイズを出す。
- ③アイデアブックに載っている資料や活動を読む。
- ④分かったことと今後調べてみたい目標を選び、発表する。

# SDGsってなあに？

学校名：神通碧小学校 名前：安田汐里

## 授業内容2

### 2時間目

- ①道徳科「海をわたるランドセル」の学習を進める。
- ②SDGsの関連項目について考える。
- ③感想を発表する。

## 子どもたちの反応・感想

- ・ 3年生がSDGsを知り、考えるきっかけになった。
- ・ 映像や写真など視覚的に分かりやすいものがあることで、子供たちは集中して学習に取り組むことができていた。
- ・ 食品ロスの話や小学校に行けない子供がいる話をすると、子供たちは「日本って幸せで平和なんだね」と口々に話していた。自分の置かれた環境について考えるよい機会であった。また、「給食残さずに食べよう」「鉛筆やノートも送れるのかな」と、自分にできることを考える様子が見られた。